

2026年6月3日
株式会社SVPジャパン

SVP注目市場分析 「グラフェン・メタマテリアル」を公開

～DX・GXを物理基盤から支える21世紀の先端材料、商業化フェーズへ本格移行～

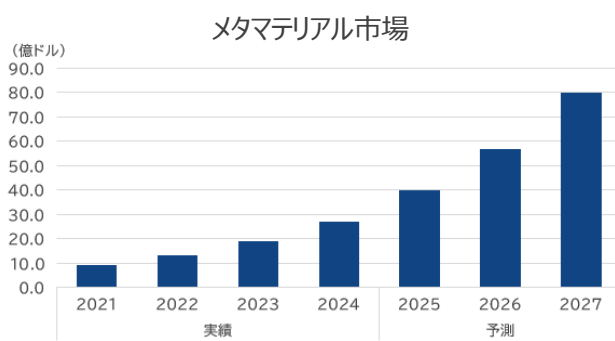
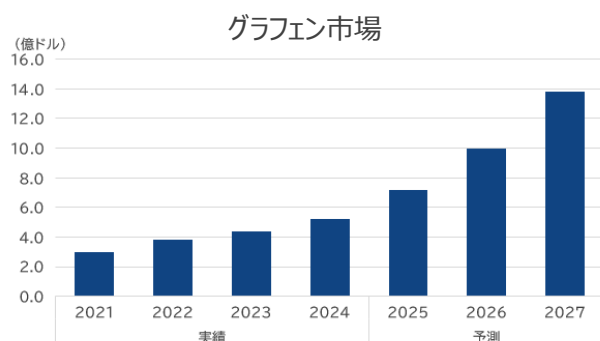


会員制マーケットリサーチサービスを提供している、株式会社SVPジャパン（本社：東京都中央区、代表取締役社長：橋本 雅、以下「SVPジャパン」）は、本日、SVP注目市場分析レポート「グラフェン・メタマテリアル-世界市場の現状と将来展望-」を、会員企業向けに公開いたしました。

■ グラフェン・メタマテリアルの世界市場

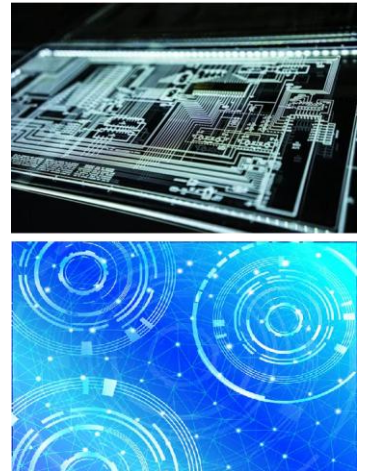
グラフェン・メタマテリアル市場は、デジタルトランスフォーメーション（DX）とグリーントランスフォーメーション（GX）という現代産業の二大潮流を、物理・ハードウェアの側面から支える次世代先端材料として、世界規模で急速な拡大を続けている。グラフェンは炭素原子が二次元の六角格子状に配列したナノ材料であり、卓越した電気伝導性・熱伝導性・機械的強度を兼ね備えることから、次世代の基盤材料として広く注目されている。一方、メタマテリアルは人工的に設計された微細構造によって自然界には存在しない電磁特性を実現する機能性材料であり、電磁波制御を可能にする次世代素材として位置づけられている。両市場はいずれも、基礎研究や概念実証

（PoC）の段階を終え、産業実装と商業化が同時並行で進展する本格的な成長局面へと移行しつつある。エレクトロニクス、電気自動車・蓄電池、通信（5G／6G）、航空宇宙・防衛、医療など、幅広い産業分野での導入が加速しており、脱炭素化の進展や電動化の拡大、高機能材料への需要の高まりが主要な成長ドライバーとして作用している。市場を構成する技術要素は多岐にわたり、これらが統合されることで新たな産業基盤が形成され、今後、世界市場は高い成長率を維持しながら拡大基調が続くと見込まれる。



■ グラフェン・メタマテリアルの市場概況

グラフェン市場においては、EVの普及を背景としたエネルギー貯蔵分野での需要拡大を主軸に、エレクトロニクスや複合材料用途での採用が加速しており、Directa Plus、First Graphene、Paragrafなどが市場をリードする中、上位企業群による一定の集約が進む「中程度の集中市場」としての構造が形成されている。また、メタマテリアル市場は、5G/6G通信インフラ整備や航空宇宙・防衛分野における政府の研究開発投資を主要ドライバーとして急成長を続けている。衛星通信向けフラットパネルアンテナを手がけるKymeta、固体電子走査レーダーのEchodyne、5Gミリ波向けアンテナのPivotal Commwareなど、用途特化型の先進企業が市場を牽引しており、通信・レーダー・光学・センシングなど領域ごとに異なるプレイヤーが並存するエコシステム型の競争構造が特徴となっている。



■ 本レポートの構成

- I. 市場の定義
- II. 市場動向
- III. 市場規模・予測
- IV. マーケットシェア
- V. 参入企業の動向
- VI. 業界構造
- VII. 課題
- VIII. 日本市場の動向



←レポート全編を見る クリック
※本サービスのご利用は、SVP会員様限定でございます。

■ 購読について/資料ダウンロード・お問い合わせ

本サービスのご利用は、SVP会員様限定でございます。
購読をご希望の場合、当社SVP会員になっていただきますと、定期的に配信する市場調査レポートを全てご購入いただけます。なお、SVP会員は、ビジネス調査に関する、クイックリサーチとプロジェクトリサーチもご利用いただけます。

資料請求

お問い合わせ



■ 次回のテーマ

7月のテーマは「高耐熱・高放熱材料」と「パワー半導体」を予定しています。

～SVP注目市場分析レポート更新スケジュール…毎月第1・第3水曜日の発刊を予定～

[会社概要]

社名 : 株式会社SVPジャパン
代表取締役 : 橋本 雅
所在地 : 東京都中央区日本橋蛸殻町1-38-9 宮前ビル2F
設立年月日 : 1974年7月1日
事業内容 : 会員制のビジネス情報提供サービス
URL : <https://www.svpjapan.com/>

[本プレスリリースに関するお問い合わせ先]

株式会社SVPジャパン DX推進部 デジタルマーケティング課
info@svpjapan.com